

# 令和6年度 中河小学校 学校評価（児童・保護者・教師）結果報告

■ A: あてはまる ■ B: どちらかといえばあてはまる ■ C: どちらかといえばあてはまらない ■ D: あてはまらない

評価項目		1 学期	2 学期	分析・改善策	
1. 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり					
確かな学力	児童 ①	授業はよくわかる (目標指数A+B: 80%)		91.5%	教職員は日々の授業を最も大切にしています。今年度は、「伝える力」を育む国語科の授業づくりをテーマに研究に取り組んできました。具体的には<単元を貫く言語活動><授業のUD化><言語能力の育成><伝え合いの場におけるICT活用>を意識して実践を行っています。結果を見ると、全ての項目で目標指数を超えました。全国学力調査や市の標準学力調査では、国語と算数の<知識・技能>の観点で本校は全国平均より「上回っている」もしくは「同程度」という結果が出ました。実際に、児童の様子を見てみると、伝える相手を意識して文章を書いたり、叙述に基づいて読み取ったりする力が以前よりもついてきたと感じます。今後は、児童や保護者の皆様に、その成長や変容を実感してもらえるような手立てを考えていき、さらに「分かった!」「できた!」「楽しい!」授業を目指し、努力していきます。①②③の項目で2学期の数値が低くなったのは、2学期が1学期よりも期間が長く、学習の内容や量が多くなるため、子どもは学習につまずいてしまいがちになることや、そこに不安を感じてしまうことによるものと考えられます。ただ、結果からは児童が主体性や意欲をもって取り組んでいることがわかります。子ども達のやる気を大事にし、われわれ教師自身は子どもたちの習熟度により一層気を配りながら、分かりやすい授業を心がけていきます。
	児童 ②	授業に主体的に取り組んでいる (目標指数A+B: 80%)		93.8%	
	児童 ③	自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたり表現する活動に意欲的に取り組んだ (目標指数A+B: 80%)		93.8%	
	教師 ④	児童に「学びのゴール」や「学びの見通し」をもたせたり、導入や発問を工夫したりした (目標指数A+B: 100%)		100.0%	
2. 言語能力の育成					
教師 ⑤	発達段階に応じた話し方・聞き方を指導した (目標指数A+B: 100%)		100.0%	日々の授業や生活の中で語彙を増やすことを心がけています。また、各学年で音読に取り組んだり、学習形態や発表の場の持ち方などを工夫したりしました。	
3. 伝え合う力の育成					
教師 ⑥	ICTの活用法を学び、授業に活かした (目標指数A+B: 90%)		93.8%	児童は、授業の中で主に、考えをまとめたり、伝えたりする際にタブレットを使用しています。今年度は、教員間で活用実践例を共有し、各学年の活用方法を学び合いました。今年度は家庭学習の中でもデジタル教材「Qubena」を取り入れ、課題を出すタイミングや内容を学年で話し合いながら効果的な活用の仕方を考えてきました。今後もより効果的な活用方法を模索していきます。また、家庭内のコミュニケーションがより豊かになるよう、児童が今日の学びを話したくなるような授業を目指します。	
保護者 ⑦	子どもは、学校で学んだことをおうちで伝えている (目標指数A+B: 80%)		85.7%		
1. 互いに認め支え合う学級づくり					
豊かな心	児童 ⑧	自分や相手を大切にできる言動ができた (目標指数A+B: 90%)		95.5%	中河小の児童には、自分や相手を大切にしようという心や態度が育っているようです。2学期は教員間で、1学期の評価と反省を踏まえ、「ポジティブ教育」の内容や取り組み方を改めて確認し、意識して取り組みました。今後も、自分や周りの人を大切にできるよう、児童の実態を見ながら、必要なタイミングで必要な指導や活動を行っていきます。
	教師 ⑨	ポジティブ教育に、年間計画や児童の実態を意識しながら取り組んだ (目標指数A+B: 90%)		71.4%	
2. 自己肯定感、自己有用感の育成					
児童 ⑩	みんな（学級・学年・異学年交流）で一緒に活動するのは楽しい (目標指数A+B: 90%)		96.0%	本校では「清掃活動」「たてわり班遊び」「委員会・クラブ活動」等で異学年交流を図っており、そこでは上級生が下級生にやさしく接する姿が見られます。今年度は、各学級での「青空給食」や6年生が中心となって企画・運営をした「中河祭」など、みんなで一緒に楽しめる機会が数多くありました。	

3. 教育相談、支援教育の充実								
豊かな心	児童	⑪	学校は楽しい (目標指数A+B: 90%)		95.5%		92.8%	児童「学校は楽しい」保護者「子どもは楽しく学校に通っている」の項目で、どちらも目標指数を超えた結果となりました。 日頃よりいじめについてアンテナを高くして、友だち同士の関わり方や言動について、些細なことでも見逃さないように努力しているところです。また、いじめアンケートや心のアンケートを継続して行い、アンケートをもとに個別に話を聞き取り、対応できるようにしています。本校のいじめ基本方針に基づいて、チームで対応することも大切にしています。さらに、ポジティブ教育や道徳の授業などに力を入れ、誰に対しても思いやりを持ち、温かい言動ができるよう見守ってまいります。ご心配なことや不安なことがありましたら、学校にご連絡ください。
	教師	⑫	アンケートや相談活動を通して、いじめ・不登校・要支援児童を把握し、未然防止等適切な対応をすることができた (目標指数A+B: 100%)		100.0%		100.0%	
	保護者	⑬	子どもは楽しく学校に通っている (目標指数A+B: 90%)		97.3%		94.6%	
1. 基礎体力の向上								
健やかな体	児童	⑭	体育の授業などで、めあてに向かってがんばった (目標指数A+B: 90%)		94.6%		96.8%	今年度は体育的行事として、2学期に持久走記録会を実施し、3学期に校内なわとび大会を予定しています。これらの行事を通して、児童に目標を持たせ、達成に向けて努力する経験をさせてきました。評価が高かったのは、児童自身が達成する喜びや成長を実感することができたからだと考えられます。
	保護者	⑮	子どもに「中河小スマートルール」を守るよう働きかけた (目標指数A+B: 90%)		89.3%		86.2%	今年度も「中河スマートルール」を配付し、各家庭で「我が家のスマートルール」に取り組んでいただきました。さらに外部講師を招き、高学年やその保護者を対象とした「SNSトラブル」や「ゲーム依存」の出席講座を実施しました。ご家庭でも引き続き、ご協力をお願いいたします。
	教師	⑯	保健や給食から出る資料を活用して子どもに指導ができた (目標指数A+B: 90%)		85.7%		92.9%	今年度新たに設けた評価項目です。材料費も高騰している中、栄養バランスのとれた美味しい給食を提供するため様々な工夫がされている給食。健康や食に関する情報を掲載したお便りをみんなで確認し、共有することを意識しました。ご家庭でも確認できますので話題の一つとしてご活用ください。
3. 健康教育・食育の充実								
信頼される学校	保護者	⑰	学校での日常の生活の指導や避難訓練、見守り隊等との連携によって、子ども達にとって安全で安心な学校になっていると感じる (目標指数A+B: 90%)		97.8%		98.2%	この項目については高い評価をいただきました。様々な場面を想定した訓練を実施し、児童の中でも短時間でのスムーズな避難移動が定着し、防災の意識が高まっています。見守り隊等のご協力もあり、児童も安全に登下校できています。今後も安全・安心な学校づくりを心がけてまいります。
	児童	⑱	地域について学習することで、ふるさとを今までよりも大切にしたいと思うようになった (目標指数A+B: 90%)		92.4%		93.2%	エコネットさばえにご協力いただき稲作体験をしたり、町たんけんや社会や総合などの教科で鯖江について調べたりする学習の中で、ふるさとの良さを知る機会がたくさんありました。2学期は中河祭の開催に際してもたくさんの地域の力をお借りました。ふるさとを想う児童が増え嬉しく思います。
	保護者	⑲	学校HPやHome&Schoolで、学校の様子や連絡などを知ることができた (目標指数A+B: 90%)		94.2%		94.2%	今年度は、連絡ツールとして主にHome&Schoolを利用し、情報を早く伝えることができました。また、HPでの掲載も行い、誰もが情報を共有できるようになっています。HPのブログでは各学年の様子を掲載することができました。今後も連絡手段の模索やHPの更なる充実を図ってまいります。
4. 家庭・地域への情報発信								